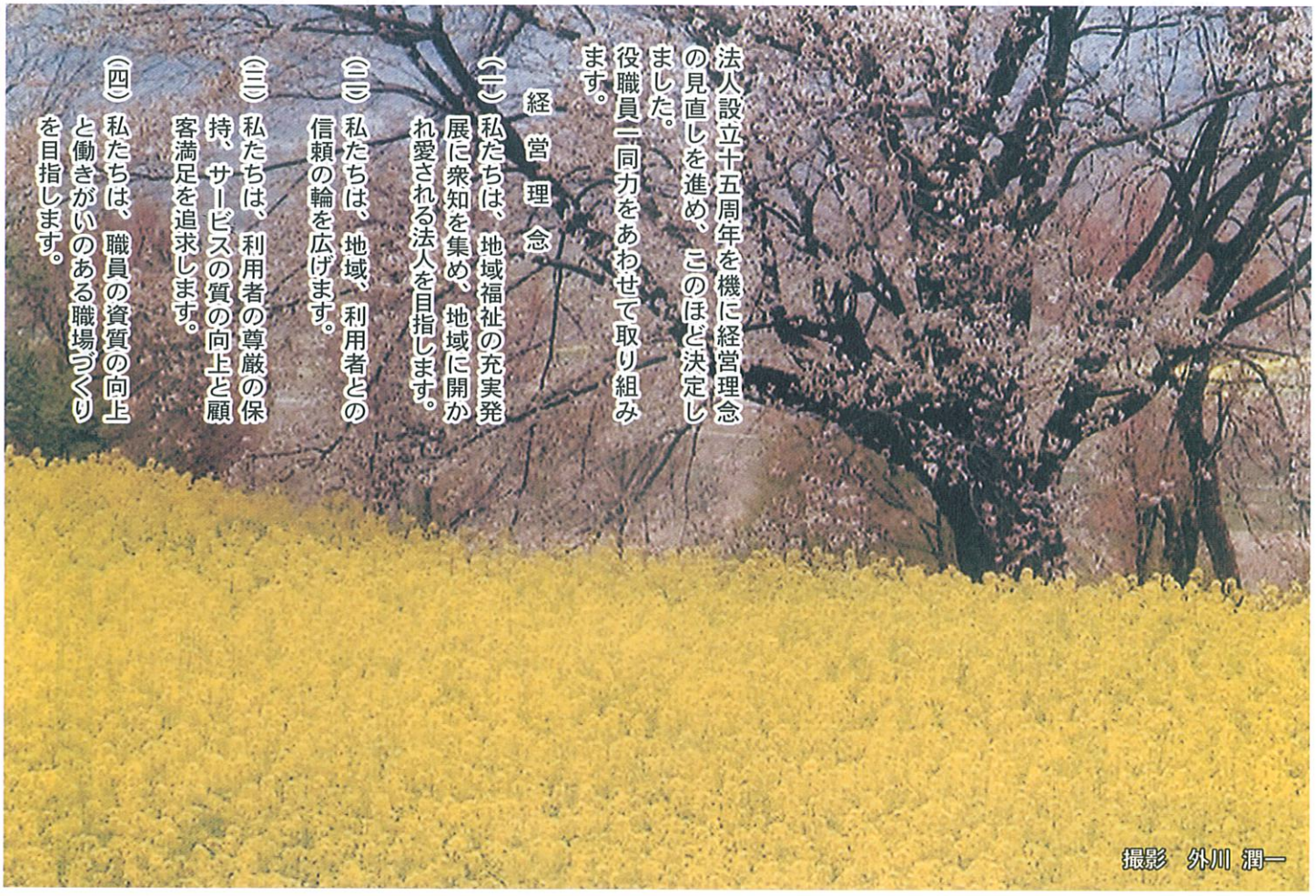
回　覧

広報 せいざんかい

2010
第9号
発　行
平成22年4月20日



法人設立十五周年を機に経営理念の見直しを進め、このほど決定しました。役職員一同力をあわせて取り組みます。

経営理念

（一）私たちは、地域福祉の充実発展に衆知を集め、地域に開かれ愛される法人を目指します。

（二）私たちは、地域、利用者との信頼の輪を広げます。

（三）私たちは、利用者の尊厳の保持、サービスの質の向上と顧客満足を追求します。

（四）私たちは、職員の資質の向上と働きがいのある職場づくりを目指します。

撮影　外川 潤一

社会福祉法人　泄山会（せいざんかい）

柏柳の里

■特別養護老人ホーム（長期・短期）
■デイサービスセンター
■居宅介護支援事業所

〒945-1502
柏崎市高柳町岡野町2254-1
TEL 0257-41-2202　FAX 41-2203
E-mail hakuryu@almond.ocn.ne.jp

いこいの里

■特別養護老人ホーム（長期・短期）
■デイサービスセンター
■居宅介護支援事業所

〒945-1115 柏崎市大字佐水3140
TEL 0257-29-3800　FAX 29-3350
E-mail ikoi@theia.ocn.ne.jp

柏崎市南地域包括支援センター
TEL 0257-31-4515 FAX 31-4525
E-mail minamihoukatsu@cosmos.ocn.ne.jp

くじらなみ

■特別養護老人ホーム（長期・短期）

〒945-0855
柏崎市鯨波2丁目4番3号
TEL 0257-32-1120 FAX 32-1121
E-mail kujiranami@trad.ocn.ne.jp

～五年後を目指した～ 法人の中期計画 策定

法人設立十五周年を機に五年後を目指した法人の中期計画の策定作業を幹部職員からなる策定委員会を設置し、一年がかりで（十七回開催）作業を進めてきました。この間法人役員会で審議し、また個別に意見を聴取してきました。さる三月二十六日の理事会・評議員会で承認をいただきました。その内容は次のとおりです。

経営理念

（一）私たちは、地域福祉の充実発展に衆知を集め、地域に開かれ愛される法人を目指します。

（二）私たちは、地域、利用者との信頼の輪を広げます。

（三）私たちは、利用者の尊厳の保持、サービスの質の向上と顧客満足を追求します。

（四）私たちは、職員の資質の向上と働きがいのある職場づくりを目指します。

事業整備計画

○三施設の取り組み

三施設はそれぞれ建設年も違い、課題も異なりますがそれぞれ適確に捉えながら、節水、節電、ゴミの節減に努め、環境にやさしい施設づくりに取り組みます。

・いこいの里

車両の更新。エリア活動におけるハード面での環境づくり、ショートの個室化の検討。

・柏柳の里

入浴設備（シャワーベッド、チェアインバス）の更新、一般浴の改修。車両の更新。五～六年後は屋根・外壁の塗装。

・くじらなみ

海岸に近いため、塩害防止を含め、最適な維持管理体制を追求します。

○新事業への取り組み

第四期介護保険事業計画にある地域密着型介護老人福祉施設並びに小規模多機能型居宅介護の具体化。また、開発が予定される駅前地区は、福祉施設立地には最適であり、地域福祉のニーズ、次期介護保険事業計画を見込み、事業化について多角的に検討します。

組織整備計画

○法人の事業組織

平成二十一年度に法人本部専任体制を構築し、業務の効率化に着手しました。今後、現状を分析・把握し、経営課題へ主体的に取り組み、公共的、公益的かつ信頼性の高い経営を実践し、併せて施設の組織体制を検証します。

○人材の確保・育成

少子化により新卒者の確保が厳しい中、大学・専門学校との連携をさらに深め、高等学校卒業生については介護職員として、採用・養成し、資格取得への途を構築し、人材の確保を目指します。

また、職員にとって働きがいがあり、安心して子育てができ、自信を持って勧められる職場環境づくりに取り組みます。

職場研修については、各施設で積極的に取り組んでおり、今後、施設合同の研修の機会を持ち、さらに内容を充実した研修体制を整備し、職員の資質向上に取り組みます。

職員の業務への取り組みや成果を確認し、自己管理と目標づくりに取り組み、職員の理解を得て人事考課を行います。

資金整備計画

法人の経営収支実態と介護報酬改定を見込み、負債償還計画や施設の収支状況を検証し、今後の経営見通しの分析と適正かつ合理的な資金運用方法の確立に取り組みます。

その他の基盤整備計画

平成十九年度には法人・施設のホームページを開設し、平成二十年度からは、広報紙を「せいざんかい」として、法人一本で発行いたしました。充実を図り、地域への発信力をさらに高めます。また、法人内・施設内の情報の共有・管理のシステム化に取り組み、福祉関係団体・地域の方々との情報交換を積極的に取り組みます。

中期計画策定委員

校舎の全景

上米山小学校校舎を活用
小規模特別養護老人ホーム計画

柏崎市は、今年二月、平成二十一年度をもって閉校となる上米山小学校校舎を活用した小規模特別養護老人ホームの整備事業者を柏崎市内の事業者に対して公募しました。当法人は、これに応募し、正式に事業者として決定後、開設に向け準備を進めてまいります。

同計画の内容は、定員二十九名の小規模特別養護老人ホームで、三階建の校舎を全個室ユニット型への改修に合わせ、一階の一部に居室ユニットを増設する予定です。総事業費は準備費を含め三億四五〇〇万円です。増築部、改修部に木のぬくもりを生かし杉板張（内装）壁を予定しております。

今後は市議会で同校舎の譲与の議決等の手続きを経て工事に着手し、平成二十三年四月一日開所を目指しています。

入所者は、十月から十二月にかけ募集を行い、翌二月上旬を目途に決定する予定です。

今まで培ったいこいの里、柏柳の里、くじらなみのケアの経験をこの施設に生かし、個人の尊厳の保持、安心安全を目指してまいります。

また、豊かな自然環境の中で、ゆったりとお過ごしいただけるよう地域と共存共栄する地域密着型の施設となるよう取り組んでまいります。

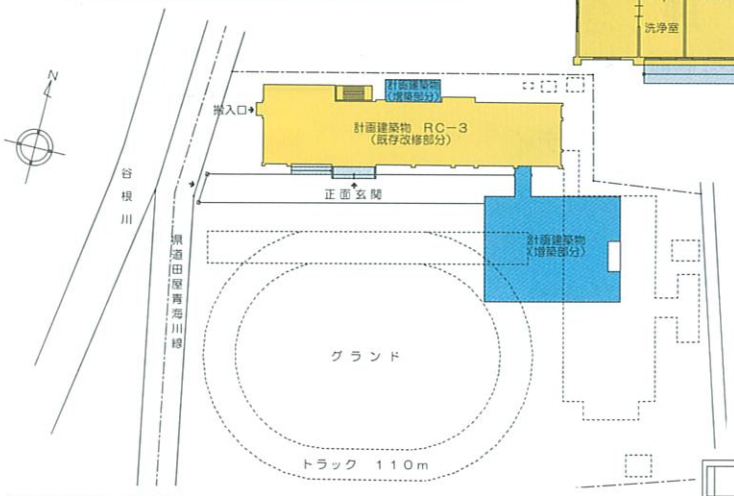
職員は園長、事務員、生活相談員、看護職員、介護職員、栄養士、調理員、用務員など総勢二十七名を予定しています。

地元谷根町内会から「百三十五年の歴史を刻んだ校舎の活用を二年がかりで研究し、高齢者福祉施設を誘致しようと市並びに貴法人にお願いしてきた。市並びに貴法人のご英断に心から感謝する。地域をあげて協力し、施設と地域が共存共栄し、地域の活性化につながると確信している。桃源郷の地になるよう地域づくりに取り組んでいる。水の里の地域として、新たな風になる。うれしいです。」とお話をいただきました。

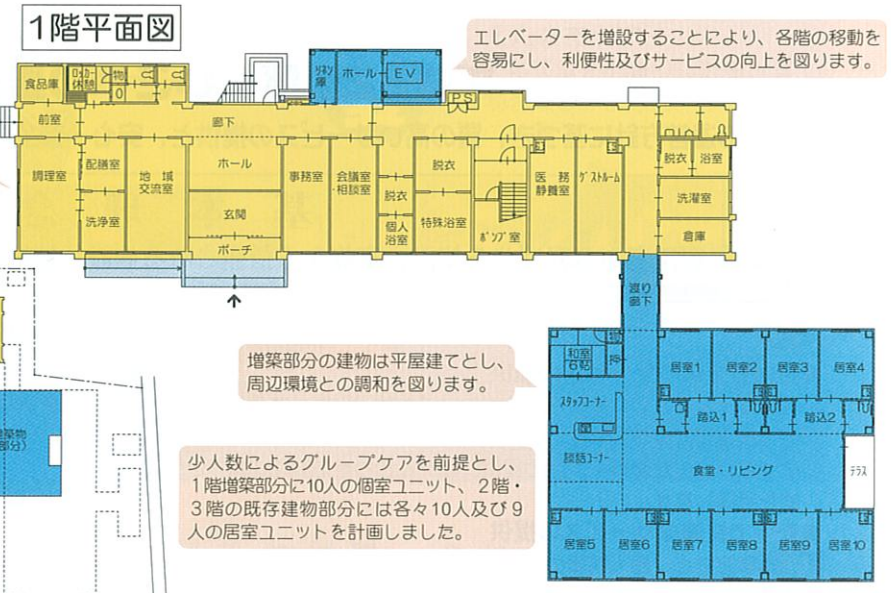
なお、建設準備室を法人本部事務局（いこいの里内）に設置し、準備を進めております。ご不明な点はお問い合わせ下さい。

（お問い合わせ　電話二九―三八〇二）

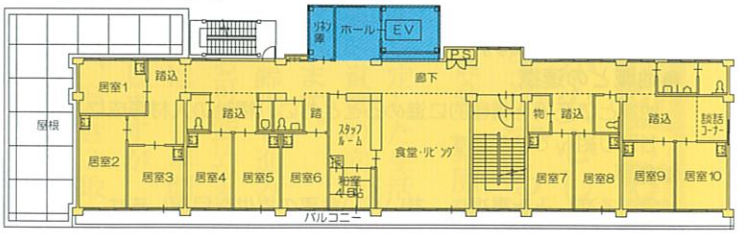
配置図



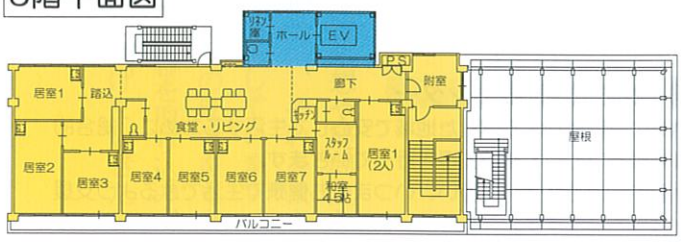
1階平面図



2階平面図



3階平面図



増築部分を示す

既存改修部分を示す

いこいの里

十五周年を迎えて

園長　佐藤　澄江

いこいの里は平成七年十月一日開所で、今年で十五年になります。

当初入所されていた方が少なくなり、多くの新しい方が入所され、職員も替わってきています。しかし、いこいの里は佐水の自然豊かな地で、相変わらず地域の中でやさしく、利用者さんと私たちを包んでくれています。

変動する時代の中、高齢者は増え続け、さまざまな施設が出来ていますが、特養入所希望は増え続けています。施設の理念が利用者から喜ばれ、家族から信頼され、愛される施設を目指し、日々努力しています。

昨年は浴室を増設、改修を行い利用者の皆様からゆっくりと入浴していただけるよう、取り組みました。

今年はさらに、「今日をこころよく、穏やかな日々を送っていただく」ケアを目標とします。

また、社会福祉法人として、障害者の雇用にも積極的に取り組み、地域に開かれた施設を目指し、職員と力を合わせて精一杯やりますのでご支援のほどをよろしくお願いいたします。

医務室より

看護主任　霜田美紀子

今年度より、主任業務を引き継ぎました。微力ではありますが、皆様のご協力を得ながら、医務室一同、力を合わせていきたいと思っています。

医務室の年間目標は、事故防止・感染予防・チームワークです。この目標に向けて日々頑張っております。

昨年度は、新型インフルエンザの発生に右往左往しましたが、園内に持ち込まないという気持ちに、チーム一丸となって取り組みました。基本ではありますが、手洗い・うがいの励行、そして職員のマスク着用義務付けと面会者の方にもマスク着用を協力していただきました。その甲斐あって、風邪・インフルエンザが発生しやすい季節を乗り切ることができました。

当施設に入所されている方は、年々高齢になるとともに、障害や認知症状が進んでいく中、生活を送っておられます。身体的不調を訴えられなく、症状が悪化したり、本人の訴えでは状況が把握しにくく、病状が悪化する事もあります。医務室として、健康管理に目配り・気配りをし、医師の診察や指示のもと、入所者の皆様が安心して生活していただけるよう、取り組んでいきたいと思っております。

平成22年度　いこいの里運営方針

新年度の運営方針に基づき，質の高いサービスの提供と，安心・安全のために，職員一同日々努力して参ります。

基本理念

利用者から喜ばれる施設、家族から信頼される施設、地域から選ばれる施設を目指します。

特養

●**利用者主体のサービスの提供**

利用者一人ひとりの尊敬を守り、ニーズや状況に応じたサービスを適切に提供します。

ゆったりとした食事・入浴の提供、個々に合わせた排泄の援助を目指します。

●**安全で快適なサービスの提供**

介護事故防止、個人情報の保護、苦情・要望に適切に対処します。

●**専門性をもったサービスの提供**

職員の専門性を高め、より質の高いサービス提供に向けた取り組みを行います。

●**地域との連携**

地域との交流を積極的に進めるとともに、福祉の人材育成にも取り組んでいきます。

●**食事**

食べる楽しみを重視し、おいしい食事の提供を目指します。

●**健康管理**

日常の健康管理を大切にし、感染予防体制、平常時・発生時の迅速かつ適切な対応を図ります。

ショートステイ

●個別の状況やニーズに合わせた介護サービス・健康管理・機能訓練等を提供していきます。

●質の高いサービスを提供していくことを目標として取り組みます。

デイサービス

利用者一人ひとりの状態に合わせたサービスを提供していけるように、利用者や家族の意見を最大限に取り入れ、支援を行っていきます。

居宅介護支援事業所

その人がその人らしく地域で暮らし続けることができるように、保健・医療・福祉サービス及び地域の資源を組み合わせることにより、自立した生活の実現が図れるよう支援していきます。

南地域包括支援センター

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために、総合的な相談窓口として相談支援を行っていきます。

介護予防のお手伝いを行い、いつまでも健康で生活できるよう支援を行っていきます。

いこいの里 年間行事

昨年度の主な活動の紹介です。今年度も皆様の笑顔がたくさん見られるように、ご家族や地域の方々と触れ合える活動を計画しています。

春

もちつき
力を込めてヨイショ！皆さんお上手です。

クリスマス会
サンタさんからのプレゼント。中身は何だろう？

観桜会
ご家族と綺麗なステージ発表・会食を楽しまれました。施設周辺の八重桜が丁度満開でしたね。

夢の森公園バスツアー
お天気にも恵まれ、楽しいドライブ♪

冬

敬老会
今年も元気に節目を迎えられた方のお祝いを盛大に！

お花見バスツアー
満開の桜を見て会話も弾みます。

秋

納涼会
「崖の上のポニョ」の仮装が可愛い！盆踊りで盛り上がりました。

えんま市ツアー
えんま堂をお参りした後、買物を楽しみました。欲しいものは買えたかな？

夏

ハーモニカ教室
素敵な音色に皆さんしばしうっとり。知っている歌を口ずさんだり賑やかに過ごします。

動物ふれあい訪問
かわいい動物の姿を見て皆さんいい笑顔です。

レクリエーション交流会
工夫を凝らしたたくさんの演目を紅白で競います。応援にも熱が入りました。

園内研修の取り組み

利用者が安心して生活する為に

研修委員会　桑原玲美子

利用者の安定した生活を守る為には、職員の資質の向上が根底に必要だと思います。

利用者の高齢化も進み、様々な問題も発生する可能性があります。研修委員会では、一年間の計画を前もって計画しますが、問題が発生した場合は、急きょ取り入れる等して、臨機応変に行っていきたいと思います。

毎年必ず取り入れたい内容について、紹介します。

・接遇について
・救急法（心肺蘇生法）
・看取りについて
・感染症について

研修後は、毎回感想や疑問点などを記入してもらい、それをまとめて、各部署で確認しています。

今年度も、昨年度の反省をもとに、より充実した内容を取り込み、職員の資質向上に繋げていきたいと思います。

柏柳の里

さらに信頼を

園長　岡庭　豊子

雪深い黒姫山の麓にも、ようやく桜の季節が訪れました。柏柳の里も地域の皆様に支えられ十四年目の春を迎えました。

昨年は皆様のご協力により、短期二十床を長期へ転換する事業が無事完了し、心より感謝申し上げます。

今年も特養エリアの七十床を三つのグループに分け、個別処遇の充実を目指します。ご利用者が喜ばれる事（家に行きたい・外食がしたい・買い物に行きたい等）を一つでも多くかなえて行きたいと考えています。

デイサービス・ショートステイ・介護予防をご利用の方々にも信頼され、頼られる施設として頑張ります。

また、職員が安心して健康に働ける職場作りを心がけます。

今年も宜しくお願い致します。

平成22年度　運営方針

特別養護老人ホーム

Ⅰ利用者本位のサービスの提供

自立支援を目指した個別ケアを行う。少人数のグループを単位として、ケアに取り組みます。

Ⅱ安全で快適なサービスの提供

マニュアルの定期的な見直しを行う。万が一、事故が起きた場合は、迅速に対応し、適切に問題解決をしていきます。

Ⅲサービスの提供者としての質の向上

施設内評価の実施、または、第三者からの評価を実施し、提供しているサービスが適切であるかを検討します。

Ⅳ健康管理

日常生活を快適に過ごして頂く為に、感染症を予防する体制を整備し、平常時から対策を実施、発症時には迅速な対応を図ります。

Ⅴ食事

個別に栄養ケアを計画し、利用者の生活機能の維持・改善を図ります。

短期入所

個別性に重点を置き、利用者一人一人の状態に合わせた介護サービスと利用者及び家族の意向を出来るだけ反映したサービスの提供に取り組みます。

通所介護

利用者の健全で安定した在宅生活の助長、社会的孤立の解消、心身機能の維持・向上、家族の身体的・精神的負担の軽減に取り組みます。

居宅介護支援事業所

利用者の心身の特性、自立支援を踏まえ、生活の質の確保及び向上を重視し、地域・医療・福祉との連携を図り、在宅介護を支援すると共に、地域に根ざした快適な生活が継続できるように支援します。

介護予防

地域の誰もが立ち寄ることができる福祉施設の拠点としての役割を担います。

研修委員会より

研修員会担当　松﨑　健

今年度の研修委員会の取り組みとして、職員の資質向上に向けた内容を更に拡充したいと考えております。

特に、専門性を高める為に外部講師を依頼したり、職員のメンタルヘルスに関する研修を行う事で、利用者様が笑顔になる職員育成に努めたいと思います。

柏柳の里では、日常生活のお手伝いや、趣味活動・生涯学習教室の先生、演奏・舞踊等をご披露して下さる方を随時募集しております。ボランティア希望の方、お問い合わせは下記の電話番号までお願いします。
TEL41-2202 担当：松﨑

善意の心に感謝します　～中学生の温かなこころの活動～

このたび、高柳中学校生徒会の皆様より、チャリティーバザーの収益金をいただき、オーバーテーブル（ベッド柵に付けるテーブル）を購入させていただきました。いつも、温かい心遣いを頂き、利用者および職員一同、感謝しております。

品物は長期利用者の皆さんで大切に使わせていただきます。ありがとうございました。

（長期介護主任　内山一也）

２月12日に高柳中学校より、職場体験学習として、１名の生徒さんが来園されました。「普段できない仕事」という事で、浴室の掃除などして頂きましたが、柏柳の里での経験を将来の仕事の選択肢のひとつにして頂ければ、嬉しいものです。

（デイサービス生活相談員　橋爪哲也）

くじらなみ

地域に根ざした施設を目指して

園長　矢嶋　文博

「特養くじらなみ」は、平成十九年七月の開設以来、はや三度目の春を迎えました。

お蔭様で、長期入所・ショートステイとも、ほぼ満床状態で新年度を迎えることが出来ました。また、パワリハ教室及び一般開放も昨年度より通年実施いたしております。これは、当施設が、徐々にではありますが、地域の皆さまから、受け入れていただいておる、その結果ではないかと、心より感謝申し上げます。

しかし、まだまだ地域福祉の拠点的役割は果たせてはおりません。新年度は、ただ単に利用者を受け入れるだけの施設ではなく、外に出て地域の皆さまの声を聞き、より地域に根ざした施設経営に努めて参りたいと考えております。併せて、全職員が心を一つにして、施設をご利用される皆さまへの、サービスの質の向上を目指して参りたいと思います。

平成二十二年度も、よろしくお願いいたします。

ボランティア募集中

・各種教室（手芸、習字等）の先生
・お話し相手・外出行事のお手伝い
・縫い物・ミシンかけ・草取りなど

ボランティアをして下さる方を募集しています。お気軽に担当までご連絡ください。お待ちしております。

連絡先
特別養護老人ホームくじらなみ
TEL（32）1120
担当　中村・大図

美代志会（踊り）

生け花教室

はまなす会（大正琴）

平成二十二年度 運営方針

（くじらなみ前頁よりつづき）

くじらなみでは、今年度も「あなたらしい生活を大切にします。」を理念に、利用者一人ひとりの個性や生活のリズムに沿ったサービスの充実に努めていきます。

その具体策として、昨年度は介護職員が中心となり、ユニットケアに関するマニュアルを作成しました。今年度はそれを基に、個別ケアの観点から全職員が同じ意識を持ち、皆様の支援をさせていただきたいと考えております。

また、その方らしく過ごしていただくためには、健康であることが第一の条件となります。そのため、歯科医師や歯科衛生士の方にお願いし、職員や利用者自らが直接口腔ケアの指導を受けることで、健康の第一歩に繋げていきたいと思います。

その他にも、ユニットごとに皆様の声を反映した行事を計画したり、生涯学習教室のバリエーションを増やし、お好きなものを選んで参加していただけるようにしたりと、その方のニーズに応じたサービスが提供できるようにしていきたいと思います。

医療の面では、「第二の我が家」としての機能を果たすために、施設におけるターミナルケアにも力を入れていきます。利用者ご本人やご家族の意向を尊重し、嘱託医、協力医院との連携の下、その方らしさが終末期においても継続されるように支援していきたいと思います。

食事の面では、毎日の食事が栄養の補給であることはもちろん、利用者の皆様にとっての楽しみであることにも配慮し、昨年に引き続き、身体状況や嗜好、生活習慣などに配慮した食事の提供に努めていきます。

地域支援事業の取り組みとしては、広報活動に力をいれたり、運動機能向上の重要性を呼びかけたりして、「パワーリハビリ」を一人でも多くの地域の方々に利用していただけるようにしたいと思います。

最後に、地域の皆様、ボランティアの皆様から日頃よりご支援、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。皆様から掛けていただくご好意の一つひとつを、利用者、職員一同、何よりもかけがえのないものと感じております。

今後とも宜しくお願い致します。

豆まき

正月獅子舞

文化祭　～ゲームコーナー～

社会福祉法人泄山会（せいざんかい）　職員募集

社会福祉法人泄山会では、次により職員を募集いたします。

・受付期間：平成22年５月17日㈪から平成22年６月15日㈫
・試　験　日：平成22年７月４日㈰
・採用予定日：平成23年４月１日㈮
　（小規模特養開設のため、一部早期採用を予定しています。）
・募集職種：①正職員　看護職員（２名）、介護職員（７名）
　②臨時職員　看護職員（１名）、介護職員（10名）、調理員（３名）、用務員（１名）
　※②の臨時職員については、選考方法が異なります。順次面接を行う予定です。

応募につきましては、ハローワークを通じてお申込み下さい。
詳細につきましては、ハローワーク又は法人本部事務局（TEL29-3802）にお問い合わせいただくか、ホームページ（http://www.fuku-seizankai.jp/）をご覧ください。

編集後記

厳しい冬でしたが、野山も一気に春のよそおいとなり、自然のいぶきを感ずるこの頃です。

向う五年間の道しるべとなる中期計画をとりまとめ、今年度からスタートしました。地域に根ざし、少しでも地域の安心につながるよう全職員一丸となって取り組んでまいります。

今年一年何卒よろしくお願いいたします。

（本部事務局　山﨑）

発行　社会福祉法人　泄　山　会
柏崎市大字佐水3140番地（電話　0257－29－3802）
E-mail　seizankai-honbu@major.ocn.ne.jp
編集　本部事務局広報委員会
URL　http://www.fuku-seizankai.jp/
印刷　㈲わかい印刷